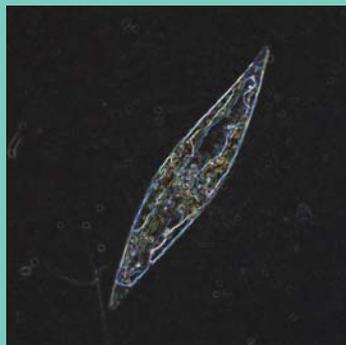
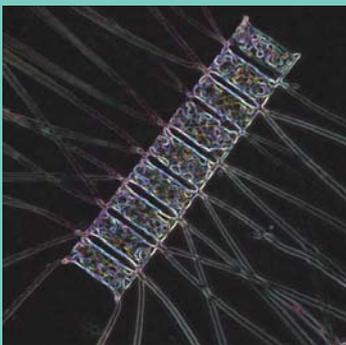


瀬戸内圏研究センター 庵治マリンステーション



Seto Inland Sea Regional Research Center
Aji Marine Station Kagawa University



香川大学

土地／建物他

敷地面積1,178㎡

研究棟鉄筋コンクリート造2階建，延面積432㎡

1階：管理室，学生実験室，観測準備室，恒温実験室

2階：科学実験室，生物実験室，機器測定室，

セミナー室

車庫・物品庫：鉄筋コンクリート造2階建

海水受水槽

*建物横に10台程度の駐車スペース有り



実験・実習、観測試料
の処理を行う大実験室



セミナー室

カラヌスⅢ (定員41名)



アルミ合金製一層甲板船
19.95 X 4.3 X 1.5 m, 19トン

主機関

4サイクル船舶用高速ディーゼル機関
669 Kw X 2230 RPM 2基
最高速力32ノット
航海速力28ノット

航海計器

カラーレーダー
ハイブリッドヘディングセンサー
DGPS航法装置
カラービデオプロッター
カラー魚群探知機

通信設備

27MHz DSB送受信機
衛星非常用位置指示無線標識

搭載機器

航行連続観測装置 (表層海水連続モニター)
多項目多段採水装置 (CTD-RMS)
超音波ドップラー流速計 (ADCP)
海底地形探索装置 (サイドスキャン・ソナー)
高度情報発信受信システム

小型調査船

ノープリウスⅡ(定員10名)

FRP製
6.22m X 2.16m X 0.78m
1.1トン
ディーゼルドライブ船75PS
最高出力23ノット
フルノGPSプロッター魚探搭載





主要機器・他

栄養塩自動分析装置
 全溶存窒素・リン分析装置
 分光光度計
 塩分・水温計
 倒立顕微鏡
 顕微鏡写真撮影装置
 人工気象器
 採水器（各種）
 採泥器（各種）
 培養実験室

研究課題

地域の沿岸環境が抱える諸問題に積極的に取り組んでいる。

- ・ 沿岸域の低次生物生産環境
- ・ 赤潮の発生に関する海洋環境
- ・ 養殖ノリの色落ちに関する海洋環境
- ・ 魚介類養殖漁場の適正管理に関する研究
- ・ 物質循環過程を主とした干潟生態系の解明
- ・ 水環境システムの数理解析と数値シミュレーション



庵治マリンステーション

香川大学農学部では、昭和30年代後半から赤潮の発生機構、養殖漁場の水・底質、環境管理に関する研究が行われてきたが、より現場に密着した調査研究体制と体験学習の重要性が認識されるようになった。これより瀬戸内海において環境問題が重要な研究課題になることを予測し、農学部附属浅海域環境実験実習施設が設立された。平成21年には「庵治マリンステーション」と名称を変更し、本大学の瀬戸内圏研究センターに移設された。

当施設は四国最北端の庵治半島先端に位置し、周辺には自然の砂浜や岩場など、自然環境に大変恵まれている。香川大学の海洋環境に関する教育研究の前線基地となっており、海洋調査船“カラヌスⅢ”（19トン）および“ノープリウスⅡ”（1.1トン）が配備されている。また、最新鋭の海洋調査機器、化学分析装置も備えられている。



学内の教育・研究活動の他にも、小・中学生を対象とした「香川大学公開講座」をはじめ、地域のニーズに対応した体験学習・研修等を実施している。





◆ 香川大学各施設所在地 ◆

1. 幸町キャンパス (教育学部、法学部、経済学部、地域マネジメント研究科)
2. 林町キャンパス (工学部)
3. 三木町医学部キャンパス
4. 三木町農学部キャンパス



5. 教育学部附属高松小学校、附属幼稚園高松園舎
6. 教育学部附属高松中学校
7. 教育学部附属坂出小学校、附属坂出中学校、附属幼稚園
8. 教育学部附属特別支援学校
9. 農学部附属農場
10. 瀬戸内圏研究センター 庵治マリンステーション



香川大学 瀬戸内圏研究センター 庵治マリンステーション

〒761-0130 香川県高松市庵治町鎌野4511-15

TEL&FAX 087-871-3001

<http://www.kagawa-u.ac.jp/setouchi/>